年間授業計画　新様式例

高等学校　令和６年度（１学年用）　教科　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　　書道選択者

教科担当者：高橋　真由美

使用教科書：（　書道Ⅰ　教育出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】楷・行書（篆・隷・草書、仮名）作品についての知識を理解し、執筆法を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】古典作品から得た知識、技能をさらに深め、工夫しながら臨書、創作活動をし、創作作品を制作する。

【学びに向かう力、人間性等】活動前に課題について確認し、作品を完成させる。臨書や創作活動に主体的に取り組むようにする。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字、仮名、仮名交じりの書の作品を通して歴史的背景など知識を理解し、作品の技法考察から執筆法を身につける。	古典作品から得た知識、技能をさらに深め、工夫しながら臨書、創作活動をし、創作作品を制作する。	活動前に課題について確認し、作品を完成させる。臨書や創作活動に主体的に取り組むようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	古典作品を通して楷書作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、作品を制作する。	基本的な楷書作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	古典作品を通して行書作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、作品を制作する。	基本的な行書作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	9
	古典作品を通して篆書作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、臨書作品を制作する。	基本的な篆書作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	12
	古典作品を通して隷書作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、臨書作品を制作する。	基本的な隷書作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	8
2学期	古典作品を通して草書作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、臨書作品を制作する。	基本的な草書作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	古典作品を通して仮名作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、臨書作品を制作する。	基本的な仮名作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。			○	○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	12
3学期	漢字仮名交じり作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、作品を制作する。	さまざまな漢字仮名交じり作品を参考にし、特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品に取り組む。	○			○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	漢字、仮名、仮名交じりの書を通して学習したことを生かし創作作品の制作に取り組む。	計画案を作成し、計画に従い創作作品を完成させる。	○	○	○		活動する前に確認した課題について克服し、作品の完成に結びつけているか。活動中の取り組む姿勢はどうだったか。	○	○	○	5
											合計 70